

シリーズ 縄文の風土記 wind of jomon

国宝土偶「縄文の女神」が生まれた、縄文時代や縄文文化などをシリーズで紹介していきます。



縄文人の衣装
(うたきむ風土記の丘 考古博物館：蔵)



【縄文人の衣装】

土偶には、ブラウス、シャツ、ズボンなどを着けているとみられるものが数多くみられます。東北地方に多い遮光器土偶の衣服などは獣皮で作られた衣服を着ていると思われます。

また、縄文時代には編布（アングイン）という日本最古の布がありました。編布には、麻やカラムシなどの植物の繊維が使われていて、編布の制作に使われた道具は、すだれや俵を編む道具に似ていて素朴なものだったようです。

縄文Q&A？

Q. 服を作る布は、どうやって作ったの？

A. 服は毛皮や植物を編んで作っていたと考えられます。植物で作った布は、細い繊維を糸にして編んだものです。太さ1ミリメートル以下の糸で編んだ布も見つかっています。1着の服を作るのにも、ずいぶん時間がかかったことでしょう。

今月の縄文の女神

国宝「縄文の女神」をより知っていただくために、展示解説会を行います。山形の宝「縄文の女神」の魅力を感じていただける良い機会ですので、ご来館ください。

めがみちゃんも遊びに行く予定です。

「縄文の女神」展示解説会

▼日時／10月14日（日）

▼場所／山形県立博物館

▼問い合わせ／

山形県立博物館

☎ 023(645)1111



～10月の主な行事予定～

- 2日 2学期始業式（舟形小学校）
2学期始業式（舟形中学校）
- 7日 町スポーツフェスティバル（町内各地）
- 27日 町総合防災訓練（真木野地内）
舟友祭（舟形中学校）
- 28日 めがみ学習発表会（舟形小学校）

8月の2度の豪雨により被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。
今月は町内会の敬老会にお邪魔させていただきました。
取材をさせていただいた町内会みなさんにはたいへんお世話になりました。今後とも広報ふながたをよろしくお願ひします。
(なお)

P.S

あとがき
postscript

